

電気通信大学 平成18年度シラバス

授業科目名	English F		
英文授業科目名	English F		
開講年度	2006年度	開講年次	2年次
開講学期	4学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化応用科目Ⅰ		
開講学科・専攻	量子・物質工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	奥 浩昭		
居室	西6-305		

公開E-Mail	授業関連Webページ
eigokyoumu@bunka.uec.ac.jp	

<b>【主題および達成目標】</b>
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 教科書のテキストの構造（序論・本論・結論）を把握し、大意をとらえる。</li> <li>2 「序論・本論・結論」からなる英文エッセイを書く。</li> </ol>

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
なし

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
なし

<b>【教科書等】</b>
S.Kathleen Kitao, K.Kitao: From Paragraphs to Essays (英潮社 : 1,600円)

<b>【授業内容とその進め方】</b>
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 皆さんの書いた英語の文章を基に、英語の書き方を学ぶ。 例 : I was checked my essay. I had my essay checked.</li> <li>2 教科書のエッセイを読み、構造（序論 本論 結論）把握の練習をする。</li> <li>3 読んだエッセイを参考に、パラグラフ（1段落）やエッセイ（数段落）を書く練習をする。</li> <li>4 最後の10分 : その場で英語のパラグラフ（1段落 : 約10行）を書く練習。実力として評価。</li> </ol>

## 電気通信大学 平成18年度シラバス

### 5 課題

- 1) パラグラフ(1段落)を書く: 学期中に5回。
- 2) 学期に1回: 個人エッセイを1月中旬に提出。

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

- 1) 実力3割 努力7割
- 2) 実力
  - ・授業中(最後の10分)のパラグラフィティング: 1割
  - ・学年末試験(エッセイを書く): 2割
- 3) 努力
  - ・出席、授業への参加: 2割
  - ・課題: パラグラフィティング(5回): 2割
  - ・課題: 1月中旬提出のエッセイ: 2割
  - ・言語自習室での学習とその報告: 1割

(言語自習室での学習が困難な場合は、それに代わる学習を認める)
- 4) 欠席4回=単位がつかない。 遅刻2回=欠席1回。

### 【オフィスアワー: 授業相談】

月曜5限

### 【学生へのメッセージ】

前期の授業は、シラバスと授業が大きく異なっていました。  
お詫びします。

### 【その他】